

第一 応援歌

大いなる朝

第二 応援歌

セイ旗ぞ高く

一、 大いなる 朝はあけたり

赤富士の 嶺を仰ぎて

精進の 結集こゝに

今進む 勝利の道を

いざ吉高 吉高選手

一、 セイ旗ぞ高く舞い立てば

勇者の駒のいなゝきて

五湖の丘辺をかけくんだり

いざ闘わん時きたる

いざ勝たんかな時いたる

二、 燃ゆるもの意気か血潮か

若鮎の 巖のおどれば

精鋭の 備も固く

ゆくところ敵の影なし

いざ吉高 吉高選手

二、 知らずや吾等富士の野に

白熱を浴び血ににじみ

鍛えし腕高鳴るを

いざ闘わん時きたる

いざ勝たんかな時いたる

三、 あゝ吾天馬の才なくも

胸に燃えたつ炎のありて

舞ひつ誦りつかつ叫べ

いざ闘わん時きたる

いざ勝たんかな時いたる